

学校法人ISI学園 専門学校長野ビジネス外語カレッジ

2023年度 シラバス

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	日本語資格対策 I		（ NKT14F ）
講義名（コード）	日本語資格対策 I B		（ NKT14FB ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	小須田 代吉	時間数	30
成績評価教員	小須田 代吉	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	通常のビジネス会話のみならず、相手の心情を理解し適切な言い回しをすることでコミュニケーション力を高めることができる。
全体の内容と概要	前半：読解問題を解くためのポイント、新出語彙を学び、実戦問題を解く。 後半：聴解問題を解くためのスキルを学び、様々な形式の聴解問題を解き、解説を加える。
授業時間外の学修	読解問題の新出語彙の意味調べ・既習事項の復習
履修上の注意事項等	JLPT合格に向けて意欲的に授業に取り組むこと

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	書き言葉になれることができる。 聞き取りった文章から何をすべきか考えることができる。	前半文法だ体。である体。です、ます体の確認をしながら読解の文書を理解する 後半聴解、まとまりある話から出来事や目的、話す人の気持ちについて聞き取る
2	文型の組み合わせについて確認できる 聞き取りの選択肢から答えを選べる	前半、過去、受け身、可能、など文体を確認しながら文書を理解する 後半、全文の内容を読み取れるように問題を聞き、スクリプトも確認する。
3	読むスピードをあげることができる まちがえやすい音を聞き分けられる	前半、本文キーワードに注目し、疑問詞を考えながら読み進める 後半、正しい情報を得られるように聞き取りの練習をする。
4	聴解問題形式と内容に慣れる	前半、前後関係からだいたいの意味を読みとれるよう練習する 後半、絵を見ながら状況説明文を聞く→3つの選択肢を聞く→答えを選ぶ
5	指示語を意識することができる 短文の答えを考えられる	前半、これ、それ、あれ指示語に注意しながら問題文を解く練習をする 後半、短い文を聞く→3つの選択肢を聞く→答えを選ぶ
6	試験問題に慣れる。	前半、メール、手紙、メモ、説明文について、読んで問題に答える練習をする 後半、状況説明文と質問文を聞く→話を聞く→もう一度質問文を聞く
7	実践問題に慣れる	商品広告、募集広告、パンフレットについての問題に慣れる
8	試験の傾向を知る	模擬試験
9	試験の傾向を知る	模擬試験、フィードバック
10	試験の傾向を知る	フィードバック
11	仕事や生活の中の必要な情報をよみとれる ものごとの順番がわかる	前半、お知らせ文や薬の飲み方について理解する 後半、順番を表す表現に注意しながら問題を聞く
12	グラフを読み取れる 解答文で言いたいことが考えられる①	後半、選択肢と同じ言葉に注意して聞く。
13	ビジネスメールについて読み取れる 解答文で言いたいことが考えられる②	後半、追加情報に注意して、聞く。
14	前期のまとめ	期末試験 読解・聴解
15	前期のまとめと解説	期末試験のフィードバックを通じて前期勉強したことの確認をする。

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等		
教科書	授業前半、新完全マスター読解	授業後半、新完全マスター聴解N3
参考文献・資料等		
備考		